

新型コロナウイルス感染症
課外活動のガイドライン
(レベル 1.5 以上の場合)

第1版 令和4年7月

山 形 大 学

(目 次)

1. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) における山形大学の課外活動の活動指針

(P 3)

2. 新しい生活様式に則した感染症対策 (P 3)

3. 課外活動を再開するために (P 4)

4. 外部のイベント・合宿・大会等への参加 (P 8)

5. イベント主催 (P 1 2)

6. 課外活動の特例申請について (P 1 6)

7. 参加予定者名簿 (P 1 7)

8. 課外活動の記録 (P 1 8)

【 各キャンパス課外活動担当の連絡先・相談先 】

▶ 小白川キャンパス 運営支援課学生支援担当 (yu-gskikaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

▶ 飯田キャンパス 学務課学生支援担当 (yu-igagak1@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

▶ 米沢キャンパス 学務課学生支援担当 (yu-kougakusei@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

▶ 鶴岡キャンパス 学務課学務担当 (yu-nogaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

1. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における山形大学の課外活動の活動指針

課外活動

レベル	活動状態	備考
1.5	・ オンラインによる活動は可 ・ 接触を伴わない屋外の活動、又は体育館や広い集会室等で換気ができ十分な距離を保つことができる屋内の活動は可	・ 感染症対策が不十分又は本学の行動指針、注意喚起等に反する行為を行ったサークル等に対して、担当理事は直ちに活動停止の措置を取る。なお、活動停止となったサークル等については、感染症対策又は注意喚起を遵守できる体制が確認され次第、活動停止の措置を解除する。
2	・ オンラインによる活動は可 ・ 接触を伴わない屋外の活動、又は体育館や広い集会室等で換気ができ十分な距離を保つことができる屋内の活動のうち許可されたものは可	
3	・ オンラインによる活動を除く対面によるサークル・部活動は全面禁止	
4	・ オンラインによる活動を除く対面によるサークル・部活動は全面禁止	

現在どのレベルにあるのかについては、本学のホームページで確認してください。

2. 新しい生活様式に則した感染症対策（下線は課外活動において特に重要なもの）

①課外活動について

- ・ 3密（密集・密接・密閉）を作らないように注意する。
- ・ 人との間隔はできるだけ2m（最低1m）空ける。
- ・ 屋内の場合、収容人数の半分以上で活動する。
- ・ 症状がなくてもマスク着用、咳エチケットに心掛ける。（運動時にはマスクを外しても構いません。）
- ・ まめに手洗い、手指消毒を行う。
- ・ 会話をするときは、可能な限り正面を避ける。
- ・ 課外活動の記録（活動日時、活動場所、参加した人）を作成し、保管する。
- ・ 屋内の活動の場合は十分に換気を行う。
- ・ 体調が悪いと思ったら、活動には参加しない。
- ・ 大きな声を出さない。大声を出す場合は人との間隔を取り対面にならないよう工夫する。
- ・ 活動するときは、外部団体（競技団体や協会）のガイドラインを参考に練習内容の工夫や感染症対策を行う。

- ・共有物（施設や部室の備品、ドアノブ等）の消毒をする。
- ・部室等の利用については、着替えや器具の出し入れなど最低限の利用にする。
- ・活動が終了したら、部室で長居したり、ミーティングや談笑したりせずに速やかに帰宅する。
- ・家に帰ったらまず手や顔を洗い、できるだけすぐに着替え、シャワーを浴びる。
- ・感染が流行している地域からの人の受け入れ、感染が流行している地域での活動は控える。

②新入生等への勧誘活動について

- ・上記の新しい生活様式に則した感染症対策を行った上で勧誘活動を行う。
- ・チラシ等を配付することは避け、可能な限り電子媒体を利用する。

3. 課外活動を再開するために

①活動再開の届け出

サークルとして活動を再開する場合には、サークル顧問とサークル部員と一緒に活動内容・感染対策について話し合い、遵守事項を確認し、P 5・6の活動再開届を所属するキャンパスの課外活動担当に必ず提出してください。

なお、実際に活動するにあたっては、各キャンパスの指示に従ってください。

- I. 再開の届け出は、通常の活動を再開する場合（レベル1）に作成し、提出してください。
- II. レベル1. 5において、接触を伴わない屋外の活動、又は体育館や広い集会室等で換気ができ十分な距離を保つことができる屋内の活動を行う場合は同様式（P 5・6）の活動再開の届け出を提出してください。
- III. レベル2において、接触を伴わない屋外の活動、又は体育館や広い集会室等で換気ができ十分な距離を保つことができる屋内の活動を行う場合は同様式（P 5・6）の活動再開の届け出を提出してください。届け出内容に問題がないことを確認した上で、活動を許可します。

※ 活動内容を確認の上、再開を認めます。なお、内容によっては再開を認めない場合又は一部の活動を認めない場合があります。

②課外活動の記録の作成

活動を行う場合には、活動記録（活動日時、活動場所、活動に参加した人の学生番号及び氏名）を必ず作成し、保管してください。みなさんを守るために必要な記録です。

なお、サークル代表者は、大学から提出を求められた場合にすぐ提出できるよう整理しておいてください。（参考：8. 課外活動の記録）

新型コロナウイルス感染症に係る課外活動再開届

感染症対策を十分に実施し、活動を再開したいので下記のとおり届け出ます。届け出にあたりサークル部員と顧問で十分に内容を検討しました。

届出日：令和 年 月 日

サークル名	
代表者氏名	
代表者電話番号	
代表者メールアドレス	
顧問氏名	
サークル所属人数	
一度に活動する人数	
活動再開予定日	
活動予定日・時間 (例：毎週水曜日 16：30～18：00 など)	
活動場所（着替えの場 所も含む）	
予定している 活動内容や練習内容	
上記活動・練習に おいて、どのような 感染症リスクがあるか 詳しく記入してくださ い	
上記リスクに対して実 施する感染症対策の内 容について詳しく記入 してください。	

※次ページに続く

新型コロナウイルス感染症に係る課外活動再開のための遵守事項
(下記事項について、□に✓をつけて提出してください。)

- ☐ 活動内容、感染症対策及び遵守事項について、サークル部員と顧問で十分に話し合いを行いました。

◆新型コロナウイルス感染症対策として、下記事項を遵守します。

- ☐ サークル活動で使用するための消毒液を準備します。
- ☐ 活動前後に手洗い、手指消毒を行います。
- ☐ 活動日ごとに、参加する人の体温確認及び健康観察を行います。
- ☐ 活動日ごとに、活動記録(活動日時、活動場所、参加した人の把握など)を作成し、求めに応じて迅速に提出できるようにします。
- ☐ 体調不良が疑われる人は活動に参加させません。
- ☐ (屋内で活動するとき)窓を開けるもしくははまめに換気を行います。
- ☐ (屋内で活動するとき)部屋の大きさに対して、適切な人数(収容人数の半分以下)で活動します。
- ☐ 活動中(マスクを着用できない場合を除き)においてもマスクを着用します。
- ☐ 他人との距離を十分に確保できる練習内容で活動します。

※競技等の性格上、他人との距離を確保できない練習内容とならざるを得ないサークルについては、この項目にチェックが入っていても届け出を可とする。ただし、各競技団体等のガイドラインに照らした上で活動を認めるかどうか確認するため、届け出時にガイドラインと一緒に提出すること。

- ☐ 共有物(ドアノブ・器具等)がある場合、その消毒を行います。
- ☐ 活動中の飲食については、水分補給のみとします。
- ☐ サークルでの懇親会・会食は行いません。
- ☐ 活動が終了したら速やかに帰宅します。
- ☐ 感染が流行している地域からの人の受け入れ、感染が流行している地域での活動は行いません。
- ☐ 大学の指示及び本届出の内容を守らない活動を行った場合には、活動停止等の処分があることを理解します。

作成日：令和 年 月 日 サークル名：_____

代表者学生番号：_____ 代表者氏名：_____

顧問(署名)：_____

新型コロナウイルス感染症に係る課外活動の感染症対策確認シート（顧問用）

活動を再開したサークルについて、下記項目を参考に感染症対策が行われているか確認し、1か月以内に所属キャンパスの課外活動担当に提出願います。

- ☐ サークル活動で使用するための消毒液を準備されている。
- ☐ 活動前後に手洗い、手指消毒を行っている。
- ☐ 活動日ごとに、参加する人の体温確認及び健康観察を行っている。
- ☐ 活動日ごとに、活動記録（活動日時、活動場所、参加した人の把握など）を作成し、求めに応じて迅速に提出できるようにしている。
- ☐ 体調不良が疑われる人は活動に参加させていない。
- ☐ （屋内で活動するとき）窓を開けるもしくは定期的に換気を行っている。
- ☐ （屋内で活動するとき）部屋の大きさに対して、適切な人数（収容人数の半分以下）で活動している。
- ☐ 活動中（マスクを着用できない場合を除き）においてもマスクを着用している。
- ☐ 他人との距離を十分に確保できる練習内容で活動している。
又は各競技団体のガイドラインに従った内容で活動している。
- ☐ 共有物（ドアノブ・器具等）がある場合、その消毒を行っている。
- ☐ 活動中の飲食は水分補給のみを行っている。
- ☐ サークルでの懇親会・会食は行っていない（行っていないように指示している）。
- ☐ 活動が終了したら速やかに帰宅している。
- ☐ 感染が流行している地域からの人の受け入れ、感染が流行している地域での活動は行っていない。

◆上記以外にサークルで行っている感染症対策があれば記載ください。

--

作成日：令和 年 月 日 サークル名：_____

顧問氏名（署名）：_____

4. 外部のイベント・合宿・大会等への参加

外部のイベント・合宿・大会等に参加する場合は、P10の「新型コロナウイルス感染症に係る外部のイベント(大会・コンテスト・外部の依頼で参加するイベント等)参加申請書」を所属するキャンパスの課外活動担当に開催日の1か月前までに提出してください。

(参加者同士の接触がないオンラインイベントの場合は、申請不要です)

なお、各レベルにおいて参加可能なものは以下のとおりです。

レベル1. 5の場合

- ・ 外部のイベント
- ・ 大会、コンテスト
- ・ 他キャンパス及び他大学等との練習試合

レベル2の場合

- ・ 外部のイベント
- ・ 大会、コンテスト
- ・ 他キャンパスとの練習試合

レベル3以上の場合

外部のイベントや大会等に参加することは禁止します。

外部のイベント・合宿・大会等に参加する際の注意事項

感染症の拡大状況によっては、レベル2以下でも大会等の参加を許可しない場合、参加予定の大会等を辞退、中止してもらう場合があります。また、レベルが許可時点から上がった場合に、既に許可されていた大会等を辞退してもらう場合があります。

大会等に参加する際に各キャンパスの支部等が集まって1団体として出場する場合、申請手続きは代表となる支部が全支部分の参加情報を取りまとめて所属するキャンパスに申請してください。

▶ 感染症対策の実施について

申請時には、サークル自身が行う感染症対策と主催者が講じている感染症対策の両方を示してください。サークル自身が行う感染症対策の例は、以下のとおりですが、実態に合わせて十分に対策を検討して記入してください。

●サークル自身が行う感染症対策の例

- ・ サークルで使用する消毒液を持参し、手指消毒を徹底する。
- ・ 試合中以外はマスクを着用する。
- ・ 当日、熱のある人、体調不良や体調に不安のある人は参加させない。

- ・ 自家用車で少人数での移動とし、移動中も感染症対策を行う。
 - ・ 発声、掛け声は行わない。発声の必要がある場合は、フェイスシールドもしくはマスクを着用し、飛沫に気をつける。
 - ・ 必要以上に会場に留まらず、終了後は速やかに帰宅する。
 - ・ 宿泊はすべて個室を確保し、一つの部屋に集合しないようにする。
- ▶ イベントへの参加に関わらず、日常的に健康観察をお願いしていますが、健康観察の方法については、各キャンパスの指示に従って行ってください。
- ▶ 条件付き許可について
- 大学は、申請内容や感染症の拡大状況によって、許可、条件付き許可、不許可のいずれかを決定します。条件付き許可の場合、例えば大会参加後、2週間自宅健康観察をお願いすることがあります。このような場合において、授業は公欠になりませんので、十分考えた上で大会等への参加を決めてください。

新型コロナウイルス感染症に係る外部のイベント
(大会・コンテスト・外部の依頼で参加するイベント等) 参加申請書

外部のイベントに以下のとおり参加したく申請します。

申請日：令和 年 月 日

サークル名	
大会等に参加する 構成員の所属キャンパス	小白川 ・ 飯 田 ・ 米 沢 ・ 鶴 岡
本件担当者氏名	
本件担当者電話番号	
本件担当者メールアドレス	
顧問氏名	
大会・イベント名称	
主催者（主催団体）	
大会・イベント規模 (全国・東北・県など)	
大会・イベント全体の 参加予定人数	
開催日時	
開催場所（会場名・都道府県・市町村）	
会場の広さ（面積）	※アリーナ、昼食会場など使用する場所ごとに面積を記入すること ※屋外の場合は屋外と記入すること。

会場のウェブサイト (URL)	
会場の図面データ	※ウェブサイトにて閲覧できる場合は、そのページのURLを記入。そのほかの場合は本申請書に添付するなどして提出すること。
移動方法	
サークルからの 参加予定者	(所属キャンパス、学生番号、氏名を一覧表にして提出すること) (参考：7. 参加予定者名簿)
宿泊の有無	☐ 宿泊あり ☐ 宿泊なし
参加するにあたりサークルが実施する感染症対策	※欄内に収まらない場合は別添としても可
マスクを外した状態での 活動時間と場所（昼食・ 休憩中も含めて）	
主催者側の感染症対策	(十分な感染症対策が取られていることがわかる要項・文書等を添付してください。)

【注意事項】

- ① 大会・コンテスト・合宿等に参加することについて、申請前に必ず顧問に相談してください。
- ② 外部からの依頼状がある場合は、依頼状（写）も添付してください。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により参加を認めない場合があるので、その時は大学の指示に従ってください。

以下、事務担当記入欄

受付年月日	承認年月日	事務担当者 確認欄	特 記 事 項

5. イベント主催

レベル1. 5の場合

イベントを主催したい場合、P 1 4「新型コロナウイルス感染症に係るイベント主催申請書」を所属するキャンパスの課外活動担当に提出してください。ただし、有観客で行う場合、観客と一緒に参加する、掛け声を出すなどの行為があるものは禁止します。

レベル2の場合

イベントを主催することを大学として禁止します。ただし、連盟等からの依頼により大会等を共催することについては、内容を確認の上、許可する場合がありますので、各キャンパスの課外活動担当窓口にご相談してください。

レベル3以上の場合

イベントを主催することを大学として禁止します。

イベントを主催する際の注意事項

実施方法や内容について感染症対策が不十分である場合は、許可しない場合がありますので、開催を決める1か月前までには各キャンパスの課外活動担当窓口に申請してください。（参加者同士の接触がないオンラインイベントの場合は、申請不要です）

屋内で開催する場合、収容人数の半分以下で実施してください。

▶ 感染症対策の実施について

申請時には、サークル自身（主催者）が行う感染症対策と参加者（観覧者）に対する感染症対策の両方を示してください。感染症対策の例は、以下のとおりですが、実態に合わせて十分に対策を検討して記入してください。

●サークル自身（主催者）が行う感染症対策の例

- ・手指消毒を徹底する。
- ・試合中（公演中）以外はマスクを着用する。
- ・試合（公演）の前後2週間は特に体調管理に気を付け、リスクのある行動を避ける。
- ・共有物及び使用した器具等の消毒を徹底して行う。
- ・人と人との間隔を1メートル以上空ける。
- ・当日、熱のある人、体調不良や体調に不安のある人は参加させない。
- ・自家用車で少人数での移動とし、移動中も感染症対策を行う。
- ・発声、掛け声は行わない。発声の必要がある場合は、フェイスシールドもしくはマスクを着用し、飛沫に気をつける。
- ・必要以上に会場に留まらず、終了後は速やかに帰宅する。

- ・窓、ドアを開放して換気する。開放できない場合は、1～2時間毎に5～10分の換気を行う。

●参加者（観覧者）に対する感染症対策の例

- ・マスクの着用を義務付ける。
- ・入口等での手指消毒を徹底する。
- ・検温器を準備し、発熱のある人は参加（観覧）を遠慮してもらう。
- ・申込時に参加者（観覧者）の氏名、連絡先を書いてもらう。
- ・応援や掛け声は出さないよう願います。
- ・客席は一定の間隔を取って座ってもらう。
- ・退場時には、運営側で指示しながら時差退場をしてもらう。
- ・十分に換気を行う。

※イベントの主催に該当するのは、イベントを主催するサークル会員以外の学生や一般市民の方が参加するものです。サークル会員のみで実施する場合は、イベント主催とはしません。ただし、サークル会員に他大学の学生が含まれる場合は、サークル会員のみでもイベント主催の扱いとします。

新型コロナウイルス感染症に係るイベント主催申請書

下記のとおり、本サークルにおいて、イベントを主催したいので、申請いたします。

なお、十分に感染症対策を行い、大学及びキャンパスからの注意事項や指示に従い活動を行います。

申請日：令和 年 月 日

サークル名	
本件担当者氏名	
本件担当者電話番号	
本件担当者メールアドレス	
顧問氏名	
イベント名称	
イベント内容	
参加者の規模（見込）	主催サークル： 人 （うち 〇〇大学 人 □□大学 人） 主催サークル以外の本学学生： 人 上記以外： 人 総合計： 人
主催する構成員の所属キャンパス	小白川 ・ 飯 田 ・ 米 沢 ・ 鶴 岡
開催日時	
開催場所（会場名・都道府県・市町村）	
会場の広さ（面積）	※アリーナ、昼食会場など使用する場所ごとに記入すること。 ※屋外の場合は屋外と記入すること。 ※大学内の施設を使用する場合は記入不要。

会場のウェブサイト (URL)	※大学内の施設を使用する場合は記入不要。
会場の図面データ	※ウェブサイトにて閲覧できる場合は、そのページのURL を記入。そのほかの場合は本申請書に添付するなどして提出 すること。 ※大学内の施設を使用する場合は記入不要。
サークルからの 参加予定者	(所属キャンパス、学生番号、氏名を一覧表にして提出する こと) (参考：7. 参加予定者名簿)
移動方法	
宿泊の有無	☐ 宿泊あり ☐ 宿泊なし
実施する感染症対策 ※欄内に収まらない場 合は別添としても可	※サークル会員が行う感染症対策と 参加者が行う感染症対策に分けて作成すること。
マスクを外した状態で の活動時間と場所(昼 食・休憩中も含めて)	※サークル会員と参加者に分けて記入すること。

【注意事項】

- ① 開催規模によっては、山形県への相談が必要となりますので開催を決める1か月前までに課外活動担当に提出してください。未定の部分については、未定のまま作成してください。
- ② 新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により開催を認めない場合があるので、大学の指示に従ってください。
- ③ イベントを主催することについて、申請前に必ず顧問に相談してください。

以下、事務担当記入欄

受付年月日	承認年月日	事務担当者 確認欄	特 記 事 項

6. 課外活動の特例申請について

課外活動の特例申請については、廃止します。屋内での練習、接触を伴う練習等については、再開届の中で、必要に応じて判断、許可いたします。

7. 参加予定者名簿

No.	学生番号	氏名	キャンパス
1			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
2			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
3			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
4			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
5			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
6			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
7			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
8			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
9			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
10			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
11			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
12			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
13			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
14			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
15			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
16			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
17			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
18			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
19			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
20			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
21			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
22			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
23			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
24			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
25			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
26			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
27			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
28			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
29			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡
30			小白川 ・ 飯田 ・ 米沢 ・ 鶴岡

8. 課外活動の記録

新型コロナウイルス感染症に係る課外活動の記録

サークル名：

活動日： 令和 年 月 日 曜日

活動時間：

活動場所：

※上記活動日における参加者について名簿を作成すること。

No.	学生番号	氏 名	活動前の健康観察セルフチェック
1			☐ 37.5 度以上の熱はなく、体調に問題はありません。
2			☐ 37.5 度以上の熱はなく、体調に問題はありません。
3			☐ 37.5 度以上の熱はなく、体調に問題はありません。
4			☐ 37.5 度以上の熱はなく、体調に問題はありません。
5			☐ 37.5 度以上の熱はなく、体調に問題はありません。
6			☐ 37.5 度以上の熱はなく、体調に問題はありません。
7			☐ 37.5 度以上の熱はなく、体調に問題はありません。
8			☐ 37.5 度以上の熱はなく、体調に問題はありません。
9			☐ 37.5 度以上の熱はなく、体調に問題はありません。
10			☐ 37.5 度以上の熱はなく、体調に問題はありません。